

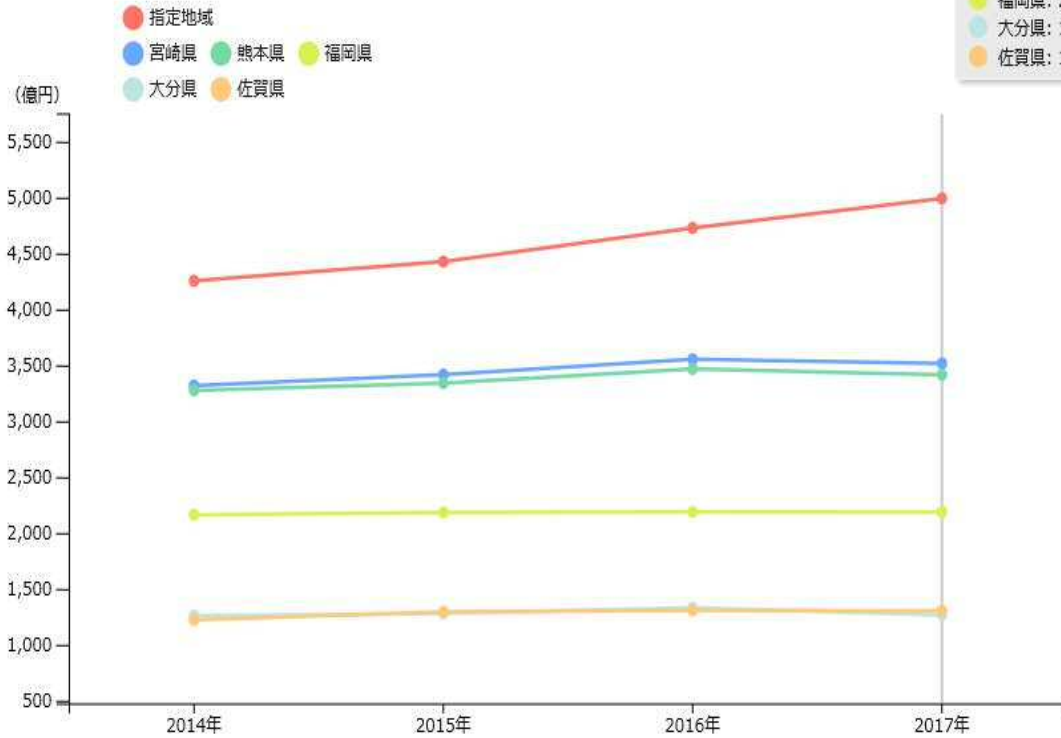
鹿児島の農業の問題とその改善策  
～廃棄農地にグッバイ！君の運命の人は誰？～

TEAM SABER

## 農業産出額（総額）

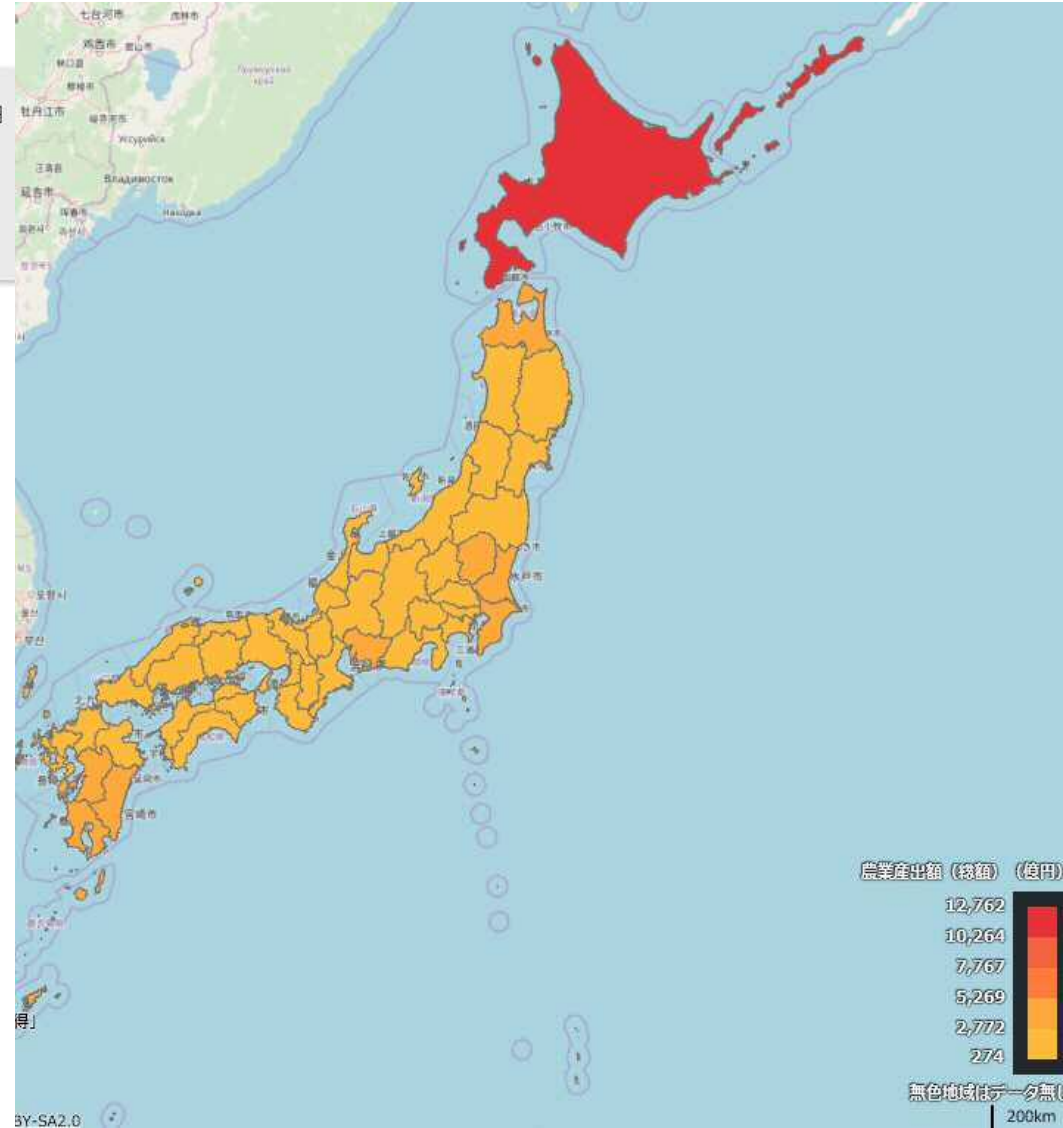
鹿児島県

すべての農業部門



2017年

- 指定地域: 5,000億円
- 宮崎県: 3,524億円
- 熊本県: 3,423億円
- 福岡県: 2,194億円
- 大分県: 1,273億円
- 佐賀県: 1,311億円



都道府県別農業産出額を示す図

【出典】

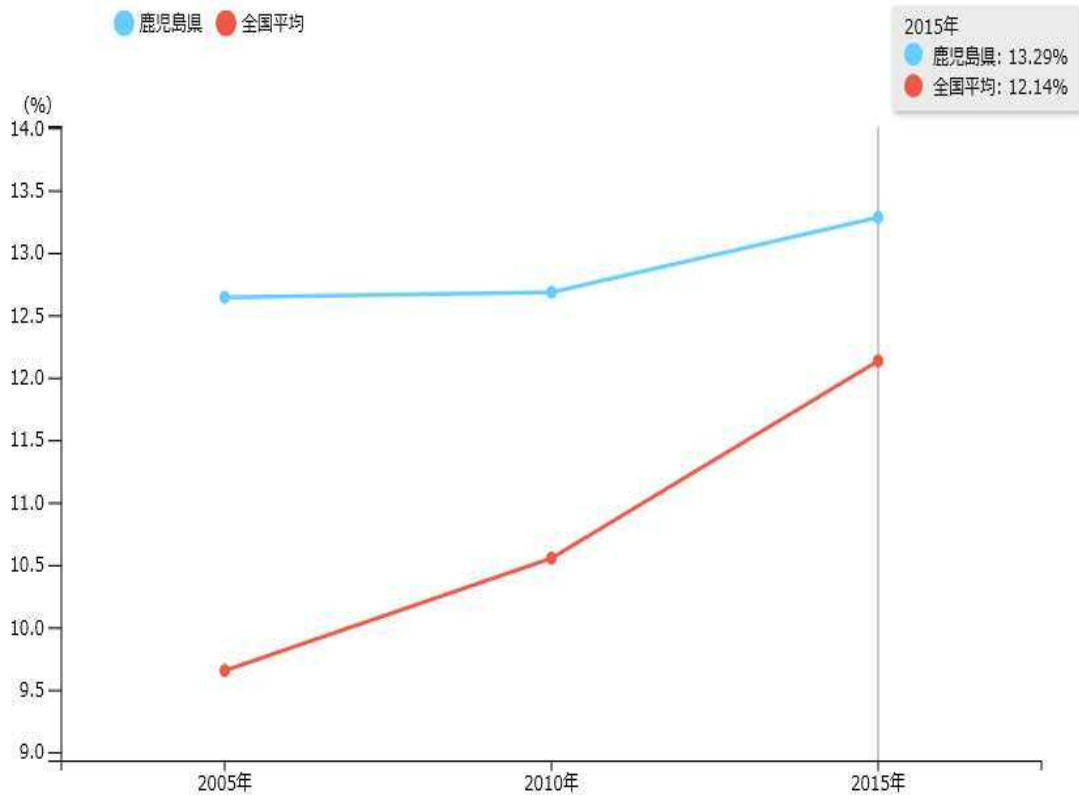
都道府県単位  
農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」  
市区町村単位  
農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

【注記】

「その他の畜産物」には、農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」及び「市町村別農業産出額（推計）」で示される「鶏」から「鶏卵」と「ブロイラー」を減じた値を含む。

## 耕作放棄地率

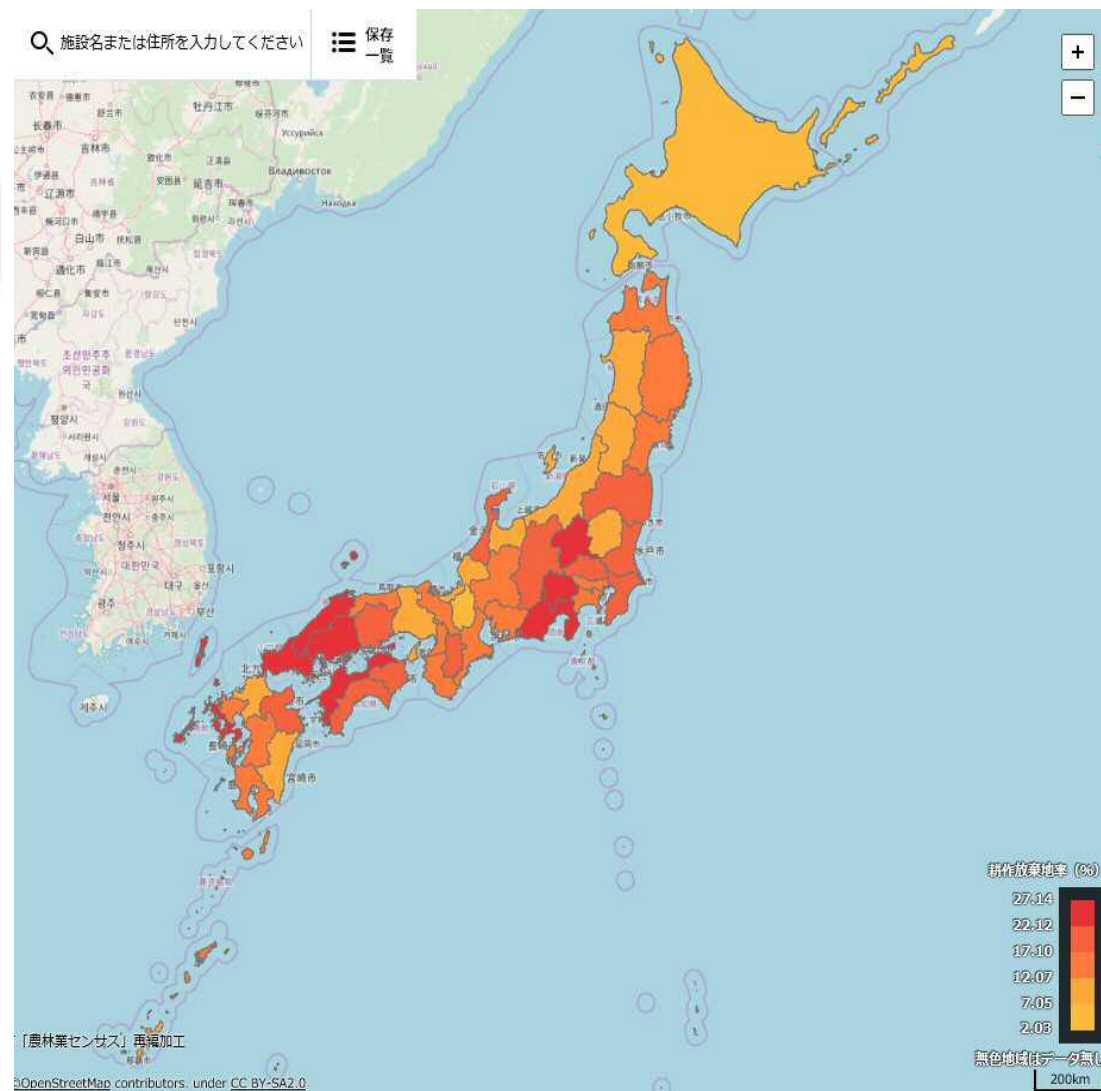
指定地域：鹿児島県



【出典】  
農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】  
耕作放棄地率 = (総農家の耕作放棄地面積 + 土地持ち非農家の耕作放棄地面積) ÷ (総農家の経営耕地面積 + 総農家の耕作放棄地面積 + 土地持ち非農家の耕作放棄地面積)

旧市区町村とは、1950年（昭和25年）当時の市区町村。



## 都道府県別耕作放棄率を表す図

# 現状

2つのスライドを見てもらって分かるように、私たちの住む鹿児島県は他の都道府県と比べ、**農業産出額**が**多く**、年々その額は**上昇**しているのにも関わらず**耕作廃棄率**がほかの県と比べて**高く**なっています。

このようなことはなぜ起きているのでしょうか？

**そもそも耕作放棄地とは？**

**「以前、耕地であったもので、過去1年以上作物を栽培せず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地」**

**と農林業センサスにおいて定義づけられています。つまり、耕作放棄地とは、耕作が行われておらず、近いうちに耕作をする予定のない土地のことです。**

**耕作放棄地は何が問題なの？**

**耕作放棄地による、問題はおもに4つあります。**

1. 雑草や害虫が発生する
2. 災害時の危険性が高まる
3. 廃棄物の不法投棄の原因となる
4. 野生動物の行動圏となってしまう



**耕作放棄地はなぜ  
増えているの？**

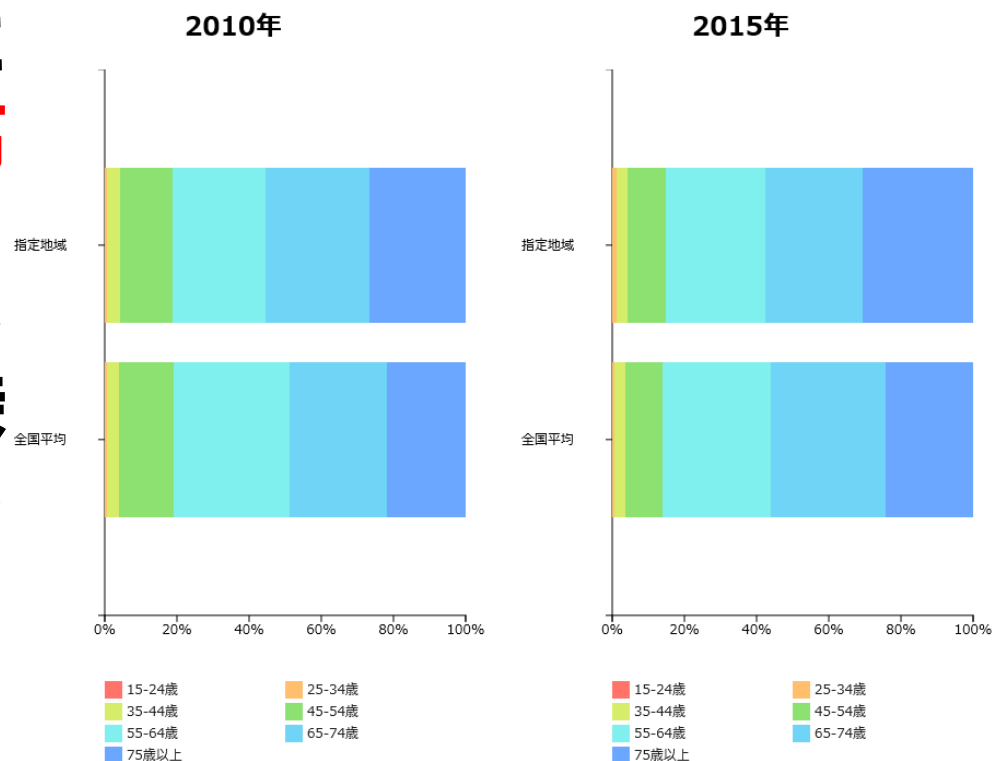
# 原因・・農業経営者の高齢化

右のグラフが表しているように  
鹿児島県の農業経営者は年々**高  
齢化**しています。  
**高齢化＝跡継ぎの減少**と考える  
と、**高齢化が耕作廃棄率の直接  
的な原因**となっていると考えら  
れますね。

農業経営者の年齢構成

指定地域：鹿児島県

性別：総数



**耕作放棄地を減らすために**

# 解決策1

僕たちはこの現状に直面して、ある一つ案を思いつきました。  
それは、捨てられたり、余ってしまった農地を県が有志の人に、  
無料で提供し、そこで耕作をしてもらうというものです。

有志になりそうな人・・副業レベルで農作がしたい人  
農作がしたいけどお金がない人  
都会に住んでいて田舎暮らしに憧れている人

# 例

人生ハッピー！！



ブラック企業に疲れた人



転職



# 解決策のメリット

- **生き甲斐がある人が増える**
- **鹿児島島の人口が増える**
- **農業産出額が増える**

## 解決策2

### サツマイモを植える

鹿児島県の名産であるサツマイモを耕作放棄地でもうえることで、  
産業の活性化が期待できると思います。



## 解決策 3

### クリスマスローズを植える

クリスマスローズは植えやすいうえに、手入れの必要もあまりないです。

12月～4月の間に咲くため、観光用として、イルミネーションも飾ると若者からお年寄りまで楽しめる場所になると思います。





他にも、耕作放棄地を減らすために行っている他県の取り組みとしては、兵庫県篠山市で、耕作放棄地を**コスモス畑**に再生することで、耕作放棄地を減らすことに成功しました。労働者の高齢化という問題に対しては、地域ボランティアにお願いしたり、元学校の先生や、元銀行員の定年退職者などを雇うことで対応しました。

もう一つの例としては、**観光果樹園**に再生する取り組みです。埼玉県美里町で行われています。耕作放棄地を観光農園化することで、高収入化を図ることができます。



## まとめ

**この案はすべて、鹿児島県の空いている農地を生かしていくことができます。**

**農業は鹿児島の誇る産業の一つなので、そこを伸ばして鹿児島をもっともっと盛り上げていきましょう!!**

